



稲城なしのすけ
©K.Okawara・Jet Inoue

いなぎ

広報



▲南山小学校屋上の太陽光発電システム

生物多様性&地球温暖化対策特集号

お問い合わせ 環境課
環境政策係、環境保全係
✉kankyou@city.inagi.lg.jp



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
公式ツイッター http://twitter.com/inagi_city
◀メール配信サービス(登録される方は、左のQRコードから、または「inagicity@emp.ikkr.jp」に空メールを送信してください)

市役所(代表) ☎042-378-2111
平尾出張所 ☎042-331-6346
若葉台出張所 ☎042-350-6321
開庁時間 午前8時30分~午後5時

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 ☎042-377-4781

目を向けてみましょう！ 身近な「生物多様性」

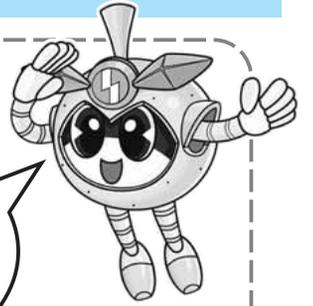
“生物多様性”ってなに？

地球上に生きている全ての生きものは、「食べる・食べられる」という関係でお互いにつながっています。
多種多様な生きもの及び生きもの同士のつながりや、つながりが持っている様々な支え合いの関係などの全てを指して「生物多様性」と呼んでいます。

どんな風に支えられているの？

私たちの暮らしは、食料や水、気候の安定など、多様な生物が関わり合う生態系からの恵み(以下の生態系サービス)によって支えられています。

人間も他の生きものとのつながりの環の中で、お互いを支え合いながら生きているんだね！



■ 生きものが生み出す大気と水 (基盤サービス)

植物が酸素を生み、森林が水循環のバランスを整えるなど、生命の生存基盤は多くの生きものの営みによって支えられています。
《例》酸素の供給、気温、湿度の調節、水や栄養塩の循環、豊かな土壌など

僕たちの生活は、こんなに沢山の“生態系サービス”に支えられているんだ！
より良い環境の創出や保身を図りながら、生態系サービスを活用していくことが大切なんだね！



■ 文化の多様性を支える (文化的サービス)

海に囲まれ、南北に長い国土と季節の変化に富む日本では、地域ごとに異なる自然と一体になって地域色豊かな伝統文化が育まれています。
《例》地域性豊かな文化、自然と共生してきた知恵と伝統など

■ 自然に守られる私たちの暮らし (調整サービス)

豊かな森林や河川の保全は、安全な水の確保や山地災害の軽減、土壌流出防止など、私たちが安心して暮らせる環境の確保につながっています。
《例》マングローブやサンゴ礁による津波の軽減、山地災害、土壌流出の軽減など

■ 暮らしの基礎 (供給サービス)

毎日の食卓を彩る野菜などの食料はもちろん、新聞や本などの紙製品や医療品、生きものの遺伝的な情報や機能・形態も私たちの生活の中で利用されています。
《例》食べ物、木材、医薬品、品種改良、バイオミミクリー(生物模倣)など

「つなげる！伝える！」市民プロジェクト

市は生物多様性の確保に向け、平成27年3月に「生物多様性いなぎ戦略」を策定し、重点プロジェクトとして、『「つなげる！伝える！」市民プロジェクト』を位置付けました。

このプロジェクトは、市民一人ひとりが取り組む具体的な内容として、生物多様性の認知度や配慮を推進すること、個人の庭やベランダなどに生きものの生息空間を創出することを掲げています。

この機会に、まずは稲城市の豊かな自然環境に目を向けてみましょう。

参加者募集 生きものフォト調査

市は、生物多様性いなぎ戦略の策定に併せ、市内の生きもの情報の蓄積と共有に向けた市民調査マニュアル「生きものフォト調査」を作成しました。こちらは、環境省が日本全国の生きもの情報を収集・提供するためにインターネット上に展開しているシステム「いきものログ」に、市内で見つけた生きもの情報を登録する仕組みとなっています。

皆さんが市内で見つけた生きものを「いきものログ」に登録することで、その情報はインターネットを通じ、いつでも・誰でも閲覧できるようになり、市内の生きもの情報の蓄積・共有が図れます。



市民調査マニュアル「生きものフォト調査」



希少種の情報は、詳細な位置が表示されないなどの配慮が施されていますので、身近な生きものから珍しい生きもの情報まで、登録にご協力をお願いします。

なお、今回ご紹介した「いきものログ」及び「生きものフォト調査」は、市ホームページ「トップページ→環境・ごみ・リサイクル→環境→お知らせ→生物多様性の確保に向けて」でご覧になれます。

皆様のご参加を、お待ちしております！



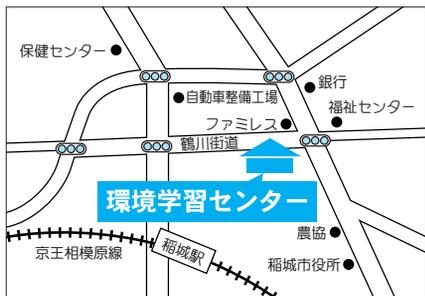
参加者募集

生物多様性推進講座

「虫を探そう！」

市内の小中学生を対象に、市民講師による虫をテーマとした講座を実施します。夏休みの自由研究のテーマとして、一緒に虫を探してみましょう。

- ▷対象 市内在住の小・中学生
- ※小学生低学年の児童には、保護者が同伴してください。
- ▷日時 7月4日(土)午前9時30分~午後0時30分
- ▷集合 環境学習センター(車でのご来場はご遠慮ください)
- ▷内容 自然環境保全地域で、昆虫に詳しい講師と一緒に観察を行います。
- ※雨天時は内容を変更し、室内で実施します。
- ▷費用 無料
- ▷定員 16人
- ▷講師 吉田氏(城山トコロジストの会)
- ▷持ち物等 水筒、虫かご、虫取り網、服装は長袖・長ズボン
- ▷申し込み 電話、ファクス(☎378-3310)、メール(✉kankyou@city.inagi.lg.jp)で、住所・氏名・学年・参加人数・電話番号をお伝えください。

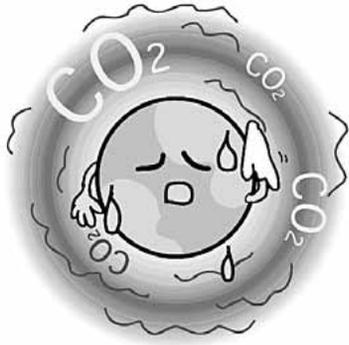




身近なことから取り組もう！ 地球温暖化防止と省エネの取り組み



地球温暖化は現実の問題です



現在地球では、人間の活動によって増加した「温室効果ガス」の影響により、地球の温度が上昇してしまう「温暖化」が世界規模で起こっています。

この地球温暖化が進行することにより、砂漠化の拡大や気温の上昇に耐えられない動植物の絶滅、農産物の生育不順など、多くの問題が起こるものと予想されます。

温暖化の問題は、今すぐ取り組まなければならない課題であり、長く続けていくことが重要です。

楽しく続けられる工夫や日々の生活の負担にならないよう、一人ひとりに合った環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を目指しましょう。

「CO2削減／ ライトダウンキャンペーン」 にご協力ください

環境省では、2003年より温暖化防止を目的にライトアップ施設や家庭の消灯を呼び掛ける「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」を実施しています。

キャンペーンにご賛同いただける方は、ご協力をお願いします。

詳細は「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」ホームページをご覧ください。



- ▷期日 夏至ライトダウン=6月22日(月)
クールアース・デー ライトダウン=7月7日(火)
- ▷時間 両日とも時間は午後8時～10時までの2時間

家庭で！ 職場で！

出来ることから始めてみよう！ 「節電・省エネの取り組み」



夏の電気の使われ方

夏は1年の中で電力消費が1番大きくなり、暑い日ほど冷房にたくさんの電気が使われます。

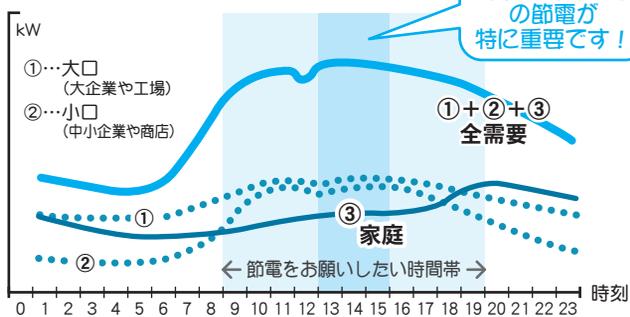
夏の1日の電力使用のピークは午後1時～4時ごろです。

しかし、電力使用が大きいのは平日のごく短時間で、土日など休日は平日と比べ小さくなります。

1日を通して無理のない範囲で節電を行いながら、電力不足の懸念が案内される日には、特にピーク時間帯での節電を行うなど、「賢い節電」に取り組みましょう。

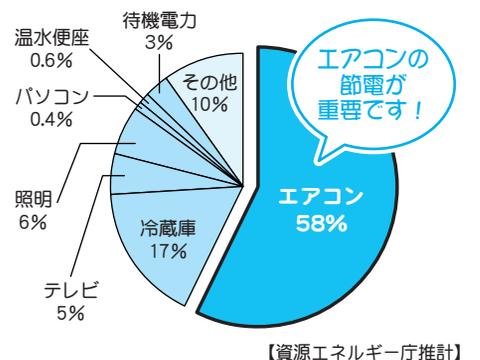
夏の昼間の電力使用の特徴

特に、日中(午後1時～4時ごろ)に最大ピークとなる傾向にあり、日中ご在宅の場合は、特にこの時間帯の節電が重要となります。



電気機器の使用例 (在宅世帯)

夏の昼間(14時頃)の電気機器の使用例



ご家庭での節電・省エネのための3つの方法

減らす

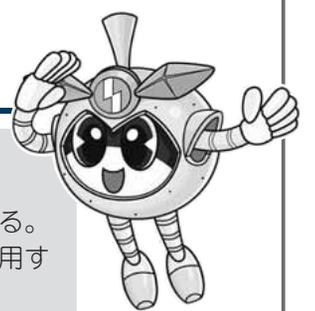
家電製品を省エネモードに変更する。
ガス台でなべ底から炎がはみ出さないようにする。

ずらす

電力使用が多い時間帯を避ける。
消費電力の大きい家電製品の同時使用を避ける。

切り替える

省エネ型製品への買い替えを検討する。
太陽光発電など自然エネルギーを利用する。



●エアコン・扇風機

- ①冷房時の温度は28度を目安にする。
- ②エアコンはフィルターをこまめに掃除する。
- ③扇風機の風量「強」「弱」を使い分ける。

●冷蔵庫

- ①壁から適切な間隔で設置する。
- ②季節に合わせて設定温度を調節する。
- ③ものを詰め込みすぎない。
- ④無駄な開閉をしない。

●照明

- ①白熱電球をLED電球や電球型蛍光灯に交換する。
- ②照明は長時間使わない時はリモコンよりも壁スイッチをオフにする。

●こまめな省エネ

- ①不要な時はテレビや照明の電源を消す。
- ②電気を使わない時はプラグをコンセントから抜く。
- ③テレビ画面は明るすぎないように設定する。

具体的な 取り組み



【家庭の省エネハンドブック】参照

ご覧になれます

稲城市環境白書 「稲城市の環境」

市では、市内環境の状況をまとめた環境白書「稲城市の環境」を毎年発行しています。

最新の平成26年度発行のものを各市立図書館で閲覧できるほか、市ホームページ「トップページ→市政の情報→計画・報告・意見公募→計画・報告→稲城市の環境(平成27年3月発行)」でもご覧になれます。

